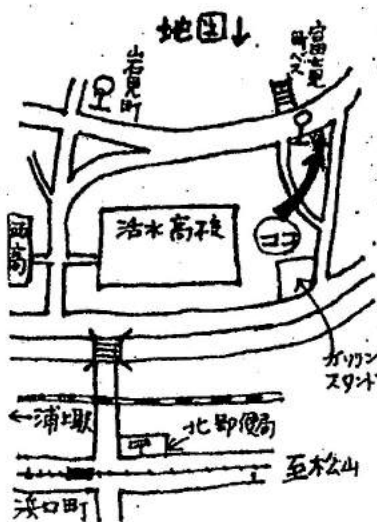


から持ちたいものです。



四月二十六日 事務局会(事務局)  
四月三十日 伊藤康子さん事務  
局長として来崎  
◎寄贈図書 通信  
「那覇市立の戦時、戦後体験記」

### 何とも言えぬ思い

佐多 稲子 (作家)

(前略)今朝の東京新聞で福田須磨子さんの詩碑が壊されたという記事を見ましておどろきました。どういふことかと、何とも言えぬ思いでございます。石田忠先生が発見された新聞に出ておりましたが、あなた方はじめ皆さんのお気持ちを伺います。実際に詩碑建立のために御苦労を頂いた方々の心中は殊更でありましょうし、私などもこのような行為の内にも近頃の逆行の空気が感じられ、複雑なおもひになります。

詩碑再建ということをごさいますようが、何かとお忙し中であつたお世話を頂きますことかと申しわけなくおもいます。何か私に出来ますことはおっしゃって頂きとうございます。よろしくお願いいたします。証言の会のみなさまに、おついでによりしくお伝え下さいまし。お二人さまにはくれぐれもお身体をおい下さいまし。お二人さまに、お障りなくと願ひ上げます。

(三月十二日、秋月氏夫妻あて)

### 死後もつづく受難

栗原 貞子 (広島・詩人)

新聞で福田須磨子さんの詩碑の碑面が割られたことを知り、何とも痛ましく、暗たんとした気持ちです。一体どんな人がどのような思いで壊したのでしよう。広島でも幹三吉の碑に赤いペンキがぬられたことがありました。このように死後もつづく受難を思うとたまらない気がします。大田洋子の文学碑の背後に、今度八メートルの自動車道路がつくそう、今日、新聞でそのことを知り、これから現地に行つて見ようと思つています。

原民喜の詩碑も広島城の石垣のそばに建てられ、碑面に投石されてきただけになり、原爆ドームのある小公園に移転修復いたしました。碑の受難が続いていることの意味は、平和思想への破壊的攻撃のように思われます。挫折しないでねばりつよく持続してゆく以外にないと思ひます。が、長崎のみならず、打撃を受けられたことと思ひます。最近の長崎の生活状況ときり離して考えることはできないと思ひます。どうか元氣を出してがんばつて下さい。

今夜、「灰の街のアメリカ紳士」を見に行きます。

(三月十四日、編集部あて)

「亀の島」ケーリー・スナイダー  
作、亀の島を發行する会(得田  
野矢)  
「平和文化」No.16(広島平和文  
化センター)

### へよろしく

さわやかな五月の緑の風に吹かれて、事務局に伊藤康子さんをむかえました。彼女、法政大学四年生で(通信教育部)今後一年の会の仕事をまかされてもらう、こゝとになり、事務局としても心強く感じています。何よりも、嬉しいのは、自由に行動してもらえ、事務局にいままで専任がいなかった、片手間に仕事をしていたのが、彼女の場合は、時間によつて変わらな活動できるのが、会の大さな力になつてもらいます。

(岡村)

### 福岡にも仲間が...

「長崎の証言」の申し込み、毎日気になりながら、年度末で何かと多忙で遅くなりまして取りあへず別記のような申し込み(会員、購読4、計7名)がございまして、代金をそろそろしてお送りいたします。春休みは一応、長崎へ出かけたいと思つておりまして、とうとう、それがかねえられませんでした。八女の山口さんは、専攻科十六回卒で、その他の方は、全部市内の中学の先生です。次は、五月の福岡県会でおすめし、ましようかと存じております。

福岡市

(豊田千五穂)

●第五回福岡県会(事務局)  
(四二)が復元な、詩碑前で開かれ約20名が参加、反原爆の決意を新たにしました。ついで被爆者会館で懇談会を開き、米原理事故への抗議声明を出すよう話した。

### 長崎の皆さまへ

(コスタリカ大学教授)

親しい友人の皆さま、東京に帰つて、あなた方が私の長崎訪問中に与えてくださった親切なご援助に心から感謝しております。私は、大変短い期間でしたが、あなたに沢山のものを、見、学ぶことができた。私の長崎訪問は、きつと私の記憶に残ることと思ひます。単に一九四五年八月とその後に長崎の人びとにもたらされたあの恐るべき爆撃と災害についての印象のみでなく、また私があなたから受け取った親切と寛大についても忘れられせん。

私は、スペイン語で、原爆によつて受けた災難について何か書くつもりだと申し上げたので、私は私自身の方法で、あなた方が核戦争に反対し、平和のために行なつていふ努力に役立ちたいと望んでおります。どうか私の心からの願いと感謝を、長崎の皆さまへお伝え下さい。

### 事務局注

これは、去る三月三十一日、四月二日、日本平和学会および鶴見和子さんの紹介で、長崎を訪問されたヒルガさんからの手紙(鎌田夫妻あて)の要約です。

四月十四日

ヒルガさんは、31日に国際文化会館見学のあと、被爆者の家で、葉山事務局局長ほか数人の被爆者や岡村事務局局長(証言の会)や長崎を伝える会の皆さまと懇談翌日は、もう一度、原爆資料館を見学した後、福田須磨子詩碑の他平和公園、その他の慰霊碑や遺跡を見学し、2日朝水俣に向かいました。通訳や案内の皆様に大変お世話になりました。被爆者との懇談会の様子は「季刊・証言」4号に報告の予定です。